

藪崎の研究計画:2012年度～2015年度の調査では、磐梯山と周辺地域の地下水や湧水等の水質、酸素・水素安定同位体の特徴について把握し、地下水の流動や涵養域の解明を試みました。また、広域の地下水涵養域の推定に活用できるよう、会津地域を含む福島県および新潟県に分布する地下水・湧水を対象とした安定同位体マップを作成し、地域的な同位体比の分布特性(標高や沿岸からの距離との関係等)を把握することができました。

2016年度の研究では、主に以下の2点について実施する予定です。1)広域の安定同位体分布特性を更に詳細に把握するため、調査地点を追加します。福島県および新潟県に隣接する長野県、宮城県、山形県についてもできるだけ地点数を増やし、地下水涵養域の推定に活用できるよう整備します。2)会津地域(裏磐梯地域)において新たに月降水採取を実施して、水質や同位体分析を行い、周辺の地下水や湧水の値と比較・検討します。また、2012年度から福島市内(福島大学)で採取している月降水採取について、2016年度も継続して行います。福島市内と磐梯山地域の降水同位体比の特徴を把握し、両者を比較することで、降水の元である水蒸気の移動や分布について把握できると期待されます。なお、降水採取に関しては、福島大学および磐梯山噴火記念館に所属されている研究者の方々との共同研究により実施します。



(福島大学に設置した降水採取装置)

裏磐梯・猪苗代地域の水循環と物質循環に関連した研究



横尾の研究計画:猪苗代湖のpHの長期変動に関する簡易推定モデルを構築し、その将来予測に向けたシナリオ分析を行います。裏磐梯毘沙門沼にて、2013年から2015年度までの期間に流入表流水のモニタリングを実施しました。このデータを解析し、毘沙門沼集水域における主要な降雨流出機構を推定します。さらに、推定した主要な降雨流出機構に固有の水質変動特性を読み解きます。

柴崎の研究計画:裏磐梯地域では、銅沼・弥六沼・毘沙門沼の3箇所と裏磐梯スキー場観測孔の地下水位連続観測を継続して実施します。猪苗代地域では、蜂屋敷地下水観測孔と猪苗代湖水位の連続観測を継続します。猪苗代平野では、平野の地下水と猪苗代湖との交流関係を具体的に検討するために、既存資料の解析や微動探査による地下地質の解明と3次元地下水流動解析を行う計画です。

